

「よりあい劇場」いいところみつけ！

顔を合わせて輪になって、おいしいお茶を飲みながら、あなたが取り組んでいる活動や、面白いアイデアを持ち寄りそのなかの“いいね！”を見つける“いいところみつけ！”の集まり「茅野市民館 よりあい劇場」を、5月28日（土）に開催しました。



〔日時〕 2016年5月28日（土）15：00～17：30

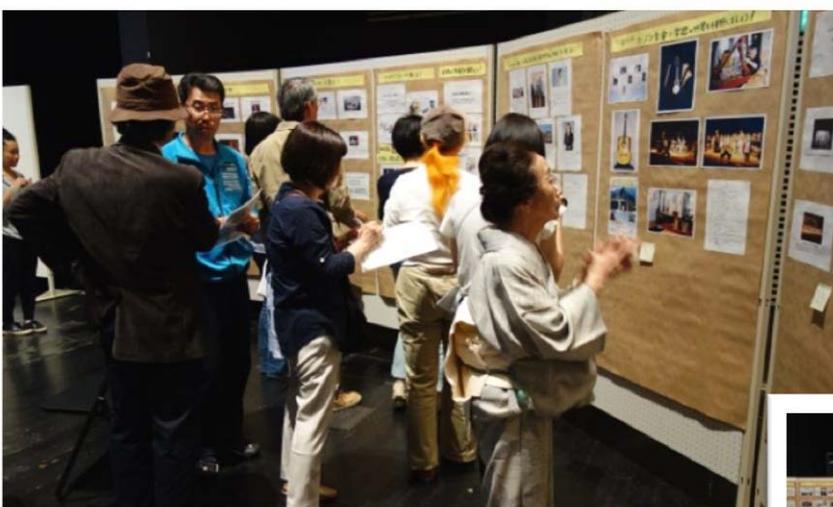
〔会場〕 茅野市民館 マルチホール 〔発表者〕 33名 〔来場者〕 約70名

今年2016年2月から3月に発表者を募集し、34の個人・グループの皆さんから、あわせて52件のアイデアが寄せられました。

5月28日の発表会では、マルチホールのなかにしつらえた「よりあいエリア」で、エントリーした皆さんが提案や活動について、スクリーンに映し出された9枚のイメージ画像とともに発表。会場には70名の皆さんが集まりました。



34の個人・グループから
52件のエントリーがありました



まわりには、それぞれの発表画像をまとめた「アイデアボード」を掲示。来場者が、発表を聞いて“いいね！”と思ったことを付箋で貼り出す（いいねタイム）も設け、発表者と来場者が語り合う、交流の場にもなりました。





“いいね！”の感想より

- ◎クラシックを身近に
- ◎プロのパフォーマンスを見たい
- ◎技術力と施設をフルに生かして、いいね
- ◎人がつながるアイデアいいですね！
- ◎今までの市民館になかった新しい提案
- ◎あたたかな気持ちになりました
- ◎プロの人にも セミプロの人にも アマチュアの人にも活動の場を
- ◎みんなで共有できるひととき、いいですね
- ◎学校へのお出前、よいですね
- ◎市民館の使い方プレゼンとして素晴らしい
- ◎子どもたちのために、おとなへの“すてき”を
- ◎鑑賞と体験 両立すべきと思います
- ◎子どもたちに出会いの機会を。同時に至芸にも出会わせたい。
- ◎ちょっと敷居が高いと思う人も参加しやすい
- ◎実行委員会（チーム）、目指しませんか？
- ◎こんな村（場所）があつたらいいね！
- ◎みんなで一緒にできることがいいですね
- ◎モチカバでやってほしい
- ◎街全体がアート 歩いて楽しい街になる
- ◎誰も排除しないという考え方に賛同
- ◎「楽しむ」が大切
- ◎ありそうでなかった案
- ◎市民一人一人が参加できる場に市民館がなればいいな
- ◎アート心がゆさぶられ、豊かな気持ちになりました
- ◎自分の住むまちのことを自分たちで知り、いいところを見つける取り組みがいいね

茅野市民館 よりあい劇場 【発表内容】	
第1ラウンド	1 あなたにとって みてもらいたいものは？
	2 方言 おさとことば で豊かな日常
	3 [大御柱博覧会]やりませんか？
	4 このまちのはなし
	5 邦楽フレッシュコンサート 一筆と漫画のコラボ
	6 市民参加型リコーダーワークショップ「笛の音楽隊」
	7 クラシックの入口
	8 こども+一流のクラシック音楽+コンサートホール
	9 こどもたちの劇場体験
	10 アート楽しみ隊
	11 クリスマスデコレーション
	12 七夕飾り
	13 まぜこぜの社会 3つのつながりがある提案
	14 できのいい思い出みんなで創ろう
	15 「となりの縄文人」アウトリーチ・戯曲講座・学習授業
いいねタイム	
第2ラウンド	16 カレイドスコープ復活
	17 本物の演劇を観よう！
	18 地元出身の音楽家
	19 茅野市民館クリエイター大集合！
	20 市民館お化け屋敷
	21 眠れない夜に聴くコンサート
	22 オーケストラでスウィングしよう
	23 南アメリカ アンデス音楽と楽器の世界を体感しましょう！
	24 日本舞踊の素晴らしさを知ってほしい
	25 Party C
	26 オーケストラでスウィングしよう
	27 高校の書道部を集めて、書道パフォーマンスの大会を開催したい！
	28 「朗読」と「演劇」+αの「朗読劇」
	29 人形劇をたのしみましょう！
	30 「お月さまがみていたおはなし」～アンデルセン作「絵のない絵本」他より～
31 演劇フェスを開催したい！	
32 ドッグラン in 茅野市民館	
33 市民一人ひとりが主人公になれる場	
いいねタイム	
第3ラウンド	34 縄文アートプロジェクト2017
	35 アンジェラ・アキ アートコンサート(仮称)～未来への手紙～
	36 夢科音楽物語 2017(仮称)～由紀さおり・安田祥子 with 子どもたちコンサート～
	37 世界とともに 2017(仮称)～世界のくから“おいでなして”～
	38 ハケ岳トリエンナーレ ～温故知新の衣・食・住～
	39 インフォメーションロボット LABO(仮称)
	40 表現の増幅(るつぼ)、茅野市民館！
	41 「ありがとうの手紙」(朗読と音楽のステージ)
	42 『太陽の子トミ』物語 アニメーション映画化 いっしょに制作しませんか？
	43 茅野市ミュージアム活性化事業
	44 茅野市美術館 企画展
	45 信濃美術をみつめる(仮)
	46 辰野登恵子の世界展
	47 おじいちゃんおばあちゃんを写そう 寿齢讃歌ー人生のマエストロー写真展
	48 若かり反抗心の時にもどりました
49 リサイクルアート展(ゴミアート展)	
50 茅野に咲く花たち	
51 並木道のアート展:ギャラリーバードハウス(巢箱画廊)(仮)	
いいねタイム	

よりあい劇場での感想

「すぐできることはそのままやって自分の利にしたほうがいいものと、公共でやったほうがいいものがあると思った。仲間を募って実現していてもいい。」

* * *

「市民館で実現するのはいくつかしかないけれど、そのほかのものも、形にするために話をしたりすることがあってもいいかも。」



発表された内容や“いいね”のご意見を参考に、市民、指定管理者、コアアドバイザーをメンバーとする「事業企画会議」で、平成 29 年度主催事業の検討を行なっています。写真は、今年度 3 回目の様子です。「よりあい劇場」を経て感じた思いを、それぞれ語り合いました。

事業企画会議より (2016. 6. 30)



事業企画会議での感想

「新しい提案者がたくさんいた。新しい方がいると新しい発想が生まれる。何人かの提案のなかに〈排除しない〉〈誰でも参加できる〉〈まぜこぜ〉とあった。当たり前のことなのだけど、きちんとやっていくこと。それを支えるのが市民館の役目ではないかと感じた。」

* * *

「一緒にやったらどう?というアイデアが多かった。みんなの考えはすごい。」

* * *

「いろんなアイデアがすばらしい。」

「プレゼン形式は初めてで楽しかった。みなさん工夫したプレゼンで、あれだけでももっと大勢の人に楽しんでもらえると思った。」

* * *

「発表の合間のみんなの様子がとてもよかった。話したり、真剣に“いいね”を書いていた。背中を押したり、場さえあればいいのでは、という人がいると感じた。」

* * *

「茅野の中にこれだけのエネルギーがあるんだ。」

* * *

「アイデアはすごい資源。見える形にしているのが市民館だと気付いた。」